



高女通信 ∞第1号∞

編集発行 群馬県立高崎女子高等学校 発行日 平成 29 年 5 月 22 日(月)

校長先生コラム

「一様性と多様性に見る言葉の縛り」

もう時季が過ぎてしまいましたが、桜の開花と同時に高女校内のクスノキが赤く色づいた葉を大量に落としていました。「あれ、クスノキは常緑樹なのに葉が紅葉して落ちるの?」、植物を知っている人でもそう思ったことでしょう。

落葉樹も常緑樹も葉には寿命があり、冬を前に秋に葉を落とせば落葉樹（冬は幹と枝だけ）、春に新芽が出る時に葉を落とせば常緑樹（古い葉だけ落葉）です。植物に限らず、基本型（＝一様性：葉を落とす）と応用型（＝多様性：何時落とすのか）は必ずあるものです。

ここで気づくことは、「我々の頭は、言葉に縛られている」ということです。常緑樹は、「いつも葉が緑で青々と茂っている木」と認識していませんか。多くの人は、常緑樹が葉を紅葉させて落葉するとは思っていません。目の前でその現象が起こっていても、秋の紅葉との違いには気づきません。人の思考は、自分で規定している言葉の意味を超えられないということでもあります。大切なことは、経験し事実を確認すること、言葉の本質的な意味を理解することです。百聞は一見にしかず。



■ 定期演奏会（マンドリン部・音楽部）

4月29日（土）30日（日）に音楽部、5月7日（日）にマンドリン部の定期演奏会が行われました。両部ともに部員が一致団結して企画から運営まで行い、練習の成果を十分に発揮し、堂々としたステージを作り上げました。来場されたお客様にも大きな温かい拍手をいただき、心から感動する演奏会となりました。



音楽部 定演

マンドリン部 定演



■ 新入生オリエンテーション

4月11日（火）に新入生オリエンテーションを行いました。高女生としての心構えや主要教科の学習法をしっかりと学び、三部合唱での校歌練習も行いました。様々な活動を通じて、友達づくりもでき、これから始まる高校生活に向けて少し不安も緩和され、気持ちも新たに頑張る決意ができた一日になったようです。



■ 生徒会オリエンテーション ・部活動紹介

4月12日(水)、生徒会主催の生徒会オリエンテーション・部紹介が開催されました。

オリエンテーションでは、高女生徒会の活動をユーモアを交えて楽しく紹介し、「部紹介」では、各部の先輩たちが趣向を凝らして活動内容を披露し、新入生に一生懸命アピールしていました。先輩のかっこいい姿に新入生も羨望の眼差しを向けていました。



■ 開校記念式典

5月1日(月)、開校記念式が挙行されました。記念講演会では高女出身の

(株)原田・ガトーフェスタハラダ 専務取締役 原田節子先生を講師にお迎えし、講話をしていただきました。「企業価値がブランドをつくる」という題で、今や全国でも大人気となったラスクについての製品開発や、企業のあり方についてのお話を聞くことができました。グローバルに活躍できる女性を目指す高女生にふさわしい講話でした。



■ 総合成果発表会

5月1日(月)の開校記念式当日、7名の生徒が自らの研究や研修経験を全校生徒の前で発表しました。充実した研究内容に加え、全員が堂々と胸を張り、聴く人を意識した非常に質の高い素晴らしいプレゼンテーションでした。

<発表者一覧>

3年 清水麻由	H28 課題研究最優秀論文「アトピー性皮膚炎は海水浴で治るのか」
3年 竹内奏絵	H28 課題研究優秀論文「折り紙に畳まれた可能性」
3年 青木菜奈可、星山七海 2年 根岸透子、山口彩花、 森戸凜	「睡眠について考えよう」
3年 橋本実奈	中曽根康弘賞論文・最優秀論文 「人口減少を考える」～社会全体で未来の人育成を～
3年 霜田滯那、篠原有寿	高女グローバル研修 in USA 報告



■ 高校総体壮行会

5月11日(木)高校総体壮行会が行われました。各部の選手がユニフォームを身にまとい、総体への意気込みを披露しました。全員で校歌を歌い、高女の活躍を祈りました。5月12日(金)からの総体の結果は次回の高女通信でお伝えします。

